

夏休みの研究課題：南予の誇れる遺産

遺産番号 36番 遺産名称 内之浦公会堂

喜須来 小学校 5 年 組 氏名 都築諒 (男・女)

スケッチ (訪れた日：平成30年 8 月 16 日)



研究成果 (近所の人に聞いたり、図書館で調べたことなど)

昭和12年(1937)年、地区住民の公会堂(集会所)として建築される。当地出身の事業家「那須金市」氏のき付〈当時のがくの5000円〉により建てられたもの。那須金市氏は下関市で大きく水産業をいとなみ財をなした人。建築したのは、那須金市氏と同級生、同年代で親交が深く、当地区を中心にとりようとして活やくしていた「那須喜八郎」氏である。

木造2階建てかわらぶき。西洋建築を意識した造りとなっており、屋根は陸屋根造にみせ、中央にげんかんポーチを設ける。外へきはセメントモルタルのあらい

出し仕上げとし、建物正面のまじは、上下スライド式。きね、
 だ、ざには花こう岩^{かん}を使用する。のき下にはアーチ状
 のそうはくがめぐらされ、「公会堂」の文字の下にはアカンサ
 の葉をデザインしたさくがほとんどこされている。
 内部は2階建て和風造りになっている。タタ少は修はして
 いるが、ほぼ建築当時そのままの状態、現在も地域の
 集会所として大切に使用されている。1階は小集会用
 の和室が2部屋。すい場やお手あらいも昔の配置のまま
 である。2階の和室には38.5じょうの大広間がありふ
 たももうけられている。内部の柱と天じょうには太
 平洋戦争中に受けたグラマン機はる機じゅうそ
 うのあとがある。2階天じょうには2か所、1階
 天じょうに5か所、1階柱に2か所のじゅうげきあとが確
 にんされており、ゆか下からはやきょうやたまが見つかる
 いる。さいわいけがりは1人も出ていないそうである。
 公会堂におとされた日、ちょうど公会堂のかぎを開
 けているおじさんがおり、内部を見学させてもらった。
 2階には頼須金市^{いんすし}氏のしょうぞう画、公会堂
 ろくせいしきの写真、グラマンの機じゅうたんがお
 いてあった。

※表面に書ききれなかったらこの面に書いても構いません。